

病害虫防除技術情報第9号

令和2年9月18日
三重県病害虫防除所

ダイズにおける吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウの発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ
2. 対象病害虫名：吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシなど)、ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察灯では、ミナミアオカメムシの誘殺数が急増しており、ダイズのほ場内においても発生を確認しています。また、ハスモンヨトウの食害による白変葉が目立つほ場も増加傾向にあります。

松阪市内設置の予察灯では、ミナミアオカメムシの誘殺数は8月第4半旬～9月第3半旬では、3,571頭(平年1,219.1頭)と多い状況です(図1)。

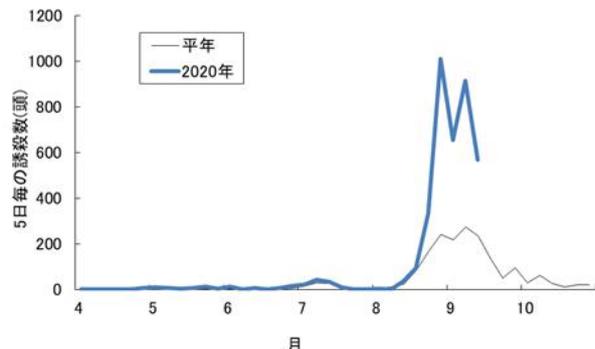
松阪市内設置のフェロモントラップでのハスモンヨトウの誘殺数は、同時期で1,526頭(平年967.6頭)とやや多い状況です(図2)。

1か月予報(9月17日・名古屋地方気象台発表)によると、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性がある見込みです。

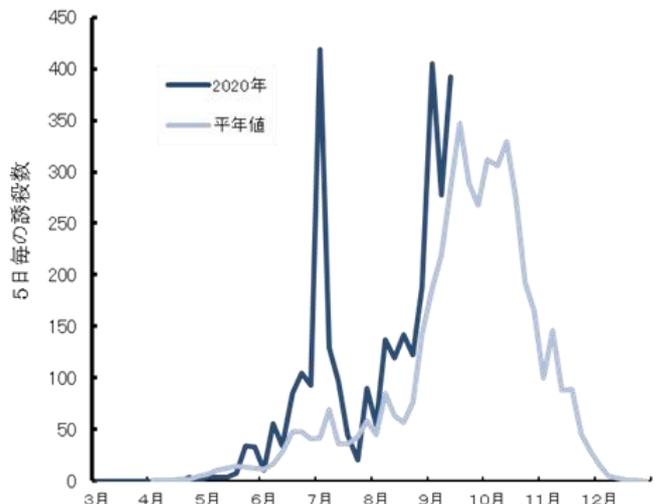
4. 防除対策

- (1) 本年は、ほ場によりダイズの生育にかなりばらつきがありますが、吸実性カメムシ類については、子実被害を抑制するためには遅くとも9月中の防除が効果的です。
- (2) 薬剤散布は、吸実性カメムシ類とほ場での白変葉の発生状況に応じてハスモンヨトウとの同時防除が効果的です。
- (3) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除がより効果的です。
- (4) 薬剤については三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>で検索することができます。



(図1) 畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)



(図2) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。